

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：34501
学校名：信濃中学校

改訂のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本を定着させるカリキュラムや授業の改善 ○学んだことを生かすことができるような生徒の育成 	
項目名	項目内容	項目内容の具体	
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆協働して課題解決に向かうことのできる生徒 ☆基礎学力の定着とそれを使いこなす力を身に付けた生徒 	
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○授業の目標や課題を明確にする ○家庭学習を含んだ望ましい学習習慣の確立 	【成果】 ⇒札幌市全体の共通指標で、「授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている」という項目で肯定的意見が若干多くなっており、授業の目標や課題を明確にすることが学習意欲の向上につながった。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○グループ討議などの言語活動を取り入れ、ふり返りを重視した指導の充実 ○意欲的に学習に取り組める授業の指導方法の改善 	【成果】 ⇒言語活動を多く取り入れ授業を行ったが、自分の考えを深めるところまではいかなかった部分もあった。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力向上週間、5教科コンテストの継続の実施による、基礎定着度の確認 ○TTによる実践を通して、個に応じたきめ細かな指導 	【成果】 ⇒基礎学力向上週間などの実施は学習に向き合う面では少し効果があった。 ⇒理科の実験などで、理解力向上につながった。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 基礎基本の定着と身に付けたことを使いこなすことのできる生徒の育成と授業展開の工夫	
	具体的な改善策（取組）	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態把握の上でのTTによる実践を通して、個に応じたきめ細かな指導 ○学習計画表による見通しを持ち学習に取り組む姿勢と家庭学習を含んだ学習習慣の確立 ○基礎学力向上週間、5教科コンテストや小テストの実施、授業での反復学習による基礎基本の定着 ○課題探究的な活動、体験的な活動、ペアやグループでの話し合い活動などを取り入れ、自分の考えを深め、振り返ることができる授業の充実 	
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力向上週間と5教科コンテストのテストによる基礎の定着度の確認と評価 ○全国学力・学習状況調査結果の活用と分析 ○札幌市全体の共通指標（全学年で実施）の活用 ○学校評価アンケートによる自己評価結果の活用 	

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム【様式例】

学校番号： 34501

学校名： 信濃中学校

改訂のポイント	○ ○	これまでの具体的な取組の成果検証に基づいたプログラムの見直しに伴う主な変更点や、自校のプログラムの長を整理し、記載する。		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆ ☆	自校の子どもの実態を踏まえながら、目指す子どもの姿を5つのポイントのいずれかから具体化し、全教職員で共有する。	
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ○	【成果】 ⇒	【課題】 ◇
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ④④④④ (最重要) ○	【成果】 ⇒ ⇒	【課題】 ◇
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○ ○	【成果】 ⇒ ⇒	【課題】 ◇
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 課題の改善に向けて、学校として、1年間を通じて、最も徹底して行う取組を焦点化し、全教職員で共有する。毎日の授業や授業づくりの際に生きるよう、具体性のある記述が望ましい。		
	具体的な改善策（取組）	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」の「分かる・できる・楽しい授業づくりの充実」や「課題探究的な学習」等を踏まえて具体化する。 ・「さっぽろっ子『学び』のススメ」を活用した取組（学校と家庭が連携した習慣づくりの取組、子どもの伸びを認め、共感的・肯定的メッセージを伝え、子どもの成長を促す取組等）について具体化する。 	
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用		
		「学ぶ力」を幅広い観点から評価し、成果等を検証する。		